

椎名町駅北口周辺地区まちづくりビジョン を策定しました

豊島区 都市整備部 地域まちづくり課(沿道まちづくり担当)
令和4(2022)年 9月

■まちづくりビジョンとは

「まちづくりビジョン」は、「補助172号線沿道長崎地区まちづくり方針（令和元年7月一部改定）」で定められた椎名町駅周辺地区の市街地像の実現に向け、「暮らしやすさ」、「防災」、「にぎわい」などの課題から、まちづくりの方向性を示したものです。作成に当たっては、「長崎1・2・3丁目地区まちづくり提言」、「沿道まちづくり方針の一部改定時の意見募集」、「椎名町駅北口来街者アンケート調査結果」などこれまでいただいたご意見を反映させた「案」をもとに、オンライン配信の説明会によりご意見をお聴きし、一部修正のうえ別添のとおり策定しました。

区は、今後、この「まちづくりビジョン」に基づいて本地区にふさわしいまちづくりを進めてまいります。

■オンラインによる説明会の概要

会場での説明会およびパネル展示会を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2月4～6日に予定していた対面での説明会・パネル展示の開催を中止とさせていただきます。そのため、区ホームページ上でYoutubeを利用した動画配信によるオンラインでの説明会とし、意見募集を行いました。

- ◆説明動画配信期間：令和4年1月25日（火）～2月24日（木）
- ◆Youtube 閲覧数：累計268回

■意見等の募集の概要

- ◆意見募集期間：令和4年1月25日から2月24日（1か月間）
- ◆意見等の集計：42名の方から93件のご意見が寄せられました。（白紙、住所変更、意見なし等の7通を除く）

※まちづくりビジョン案への意見：80件、長崎地区全般に関する意見：10件、補助172号線に関する意見：3件

■ビジョンを一部修正する内容

いただいたご意見を基に、一部ビジョン案から表現を修正した箇所は以下の通りです。

	ビジョン案	ビジョン
取り組み方針1 (5)	椎名町の価値やブランドを高め、魅力ある住宅地として、共同化などによる多世代向け都市型住宅の整備を誘導していきます	椎名町の価値やブランドを高め、魅力ある住宅地として、 個別建替え や共同化などによる多世代向け都市型住宅の整備を誘導していきます。

■意見の概要と区の考え方

ご意見	区の考え方
<p>■ 取り組み方針1「多世代が安全・安心、快適に暮らし続けられるまちの形成」について(19件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 狭あい道路や老朽木造住宅の密集の解消し、ゆとりある空間の確保と地域の防災性の強化してほしい。 ● お年寄りの街というイメージを変えてほしい。 ● 新しい世代が暮らしやすい、若い世代、ファミリー、女性が住みたくなる街をつくりたい。 ● 魅力ある住宅地とはマンション化することなのか。 ● 駅南に心身障害者福祉センターがあり、弱者に優しいまちづくりを進めてほしい。 ● 路上喫煙、違法駐輪の取り締まりを強化してほしい。 	<p>区は、補助172号線の整備に合わせ、木密地域を解消していくため、不燃化・耐震化の促進や長崎1・2・3丁目地区まちづくり協議会と協働してまちづくりを進めています。地区の骨格となる現在の道路網を生かしながら、狭あい道路の拡幅整備、建て替えや共同化の促進により、防災性を向上させ、新しい街並みを創り出し、多世代が安全・安心・快適に暮らし続けられる住環境を整えていきます。</p>
<p>■ 取り組み方針2「池袋のひとつ目小町として、個性とにぎわいのあるまちの形成」について(18件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 社寺の門前町としての歴史・文化を活かす事を第一にする。 ● 椎名町は池袋から適当な距離があり、池袋の「ひとつ目小町」というコンセプトは良いと思う。 ● それぞれの商店街の特色を活かし、現代と昔の両面を持つまち。多様な店が増え、池袋まで行かなくてすむまちにしたい。 ● 商店街が明るく、にぎやかな雰囲気になると良い。 ● 駅舎の改造で駅前のイメージは良くなったが、高架下や神社の周りが夜暗い。 	<p>本地区は、長崎神社と金剛院の門前町として、駅前から庶民的で魅力あふれる数多くの商店街が広がる街です。区は、池袋から一つ目の駅の持つ潜在的なポテンシャルを引き出し、商店街の魅力や個性とにぎわいを地区全体に広げていくことを目指していきます。</p>
<p>■ 取り組み方針3「駅前にふさわしい生活拠点の形成」について(20件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 官民主導の再開発に賛成です。 ● 土地を有効に生かしたブランド力の高い街に発展してほしい。 ● メディアに取り上げられるような、ドラスティックな街づくりを進めたらどうか。 ● 老朽木造建築の個別建替えや共同化の促進、防災性の向上など、駅周辺のまちづくりを進めたい。 ● 高齢化の時代に自家用車やタクシーが駅前に入らず、体の不自由な人が車を使うこともできない。 ● 集客力をつけるため、健康、福祉、医療などの機能の整備を検討してほしい。 ● コロナでなかなか進展が見られないが、共同化事業を社会情勢に合わせて前進したい。地権者に寄り添った無理のない開発をお願いします。 	<p>椎名町駅北口は、平成24(2012)年に南北自由通路と駅前歩行者広場の整備を行い、駅前の利用環境を改善しましたが、狭あい道路や車によるアクセスの困難度など、土地の有効利用と駅前にふさわしい基盤整備が不十分であると考えています。また、ターミナル駅池袋から至近の良好な生活拠点にもかかわらず、そのポテンシャルを發揮できておりません。区は、共同化事業協議会の共同化まちづくりにより、駅前にふさわしい生活拠点の促進(都市型住宅や都市基盤の整備)を目指していきます。そして、地域の皆さん、権利者の皆さんとご相談しながら、地域貢献度の高い計画の実現を誘導していきます。</p>
<p>■ その他のご意見(23件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● まちづくりビジョンが目指すこと、地区全体として実現しようとすることに賛同します。 ● 現状がよい。日常生活をおびやかす都市開発が本当に必要なのか。土地の提供や立ち退きなど不安がある。 ● 総花的で具体性がないのでイメージが湧きづらい。スケジュール、優先順位を明確にしてほしい。 ● 道が狭く、通学時間・昼休み・買い物時間の車や自転車の通行制限、一方通行化を検討してほしい。 ● 地域ブランドとしての個性の引き出しは、地域と区が協働関係を構築して取組んでいくべきだと思う。 ● 若い人の発想を大切に。新規出店や起業の支援、地域の高校・大学との連携を検討してほしい。 ● 今後もどのようになっているか現状をお知らせいただきたいと思います。 	<p>本地区は、駅前から周囲へ広がる商店街と閑静な住宅地の調和により、街の親しみを創り出しています。この地域の良さと個性を生かしながら、生活拠点にふさわしい都市機能の充実を図っていく必要があります。このため、まちの将来像を地域の皆さんと共有しながら、現在のまちの姿を大きく変えずに、徐々に改善していく修復型のまちづくりを進めていくことが重要であると考えております。区は、引き続き、地域の皆さんと丁寧に話し合いながら、木密地域の防災性向上を目指して、全力を尽くしていきます。</p>

その他の、長崎地区全般に関する意見(10件)、補助172号線の整備に関する意見(3件)については、長崎1・2・3丁目地区まちづくり協議会における今後の話し合いなどの参考にし、地域のまちづくりへ生かしていきます。

■今後の進め方

このたびは、椎名町駅北口周辺地区を「池袋から一つ目小町となる生活拠点」としていくため、皆様のご意見をお聴きしてきました。今後、このビジョンを本地区のまちづくりの方向性として地域の皆様と共有していくとともに、共同化など個別の開発計画が具体化されてきましたら、地域ならびにまちづくり協議会の皆様に、再度ご相談させていただきます。よろしくお願いいたします。



問い合わせ先:豊島区 都市整備部 地域まちづくり課 沿道整備グループ

TEL:03-4566-2648 / FAX:03-3980-5135 / Mail:A0050025@city.toshima.lg.jp